

【様式1】 平成29年度「岐阜県ふるさと教育表彰」実践報告書

市町村名	土岐市	学校名	土岐市立濃南中学校				
校長名	斎木 孝明	対象学年	全学年	人数	42	人	
活動名	中馬の時間		時間数	14	時間	継続年数	13年以上
題材	1 自然環境（山野・河川・動物・植物・その他） [] ② 歴史（出来事・史跡・先人・その他） [中馬海道] ③ 文化（芸能・芸術・民話・風習・その他） [地域の芸能] 4 地場産業（農業・水産業・伝統工芸・その他） [] 5 地域との積極的な関わりをつくる活動等 [] 6 その他（ ） []						
複数年継続するための工夫改善	第1学年は馬子唄踊り、第2学年は打囃子、第3学年は陶芸をテーマにし、総合的な学習の時間に地域学習として位置付け、地元の講師による指導を継続的に行っている。地域の方や講師の方を中馬発表会及び様々な学校行事にお招きし、年間を通して継続的に生徒と関わる機会を設けることで、生徒が成長していく喜びを学校と地域で共有している。						

1 ねらい

地域に残る歴史的な街道を核として地元の伝統文化に触れ、郷土の人々の生き方を学習する。学習を通して、自ら課題を見つけ、学び、考え、課題を解決するための情報の集め方・調べ方・まとめ方・報告や発表・討論の仕方やものの考え方を身に付けるとともに、ふるさとを愛する心を育てる。

2 活動の概要

- ・4月「生き方教室」…地域学習の講師から、学年毎に取り組む伝統芸能・文化に関する概要や携わる思いについて学ぶ。
- ・5月「中馬街道の歴史を学ぶ」…校区の老人クラブと協力し、中馬街道の歴史について学ぶ。
- ・4月～11月「中馬の時間」（各学年）…第1学年は「中馬馬子唄踊り」、第2学年は「曾木打囃子」、第3学年は「作陶と焼成」を、地域講師から学ぶ。
- ・11月18日「中馬発表会」…講師、地域住民、保護者等を招き、学習の成果を発表する。



第1学年 中馬馬子唄踊り



第2学年 曾木打囃子

3 地域住民との関わり、地域社会への貢献の様子

- ・「中馬街道整備」での老人会との協力、「馬子唄踊り」と「打囃子」はそれぞれの保存会、「作陶と焼成」は校区在住の陶芸家に指導を依頼し、講師も気軽に来校できるようになっている。
- ・校区の住民との触れ合いにより、公民館が主催する行事の手伝いや地域清掃に、多くの生徒がボランティアとして参加している。曾木町で行う「もみじのライトアップ」に中学生が招かれ、合唱を披露している。



第3学年 作陶

4 活動を通しての児童生徒の変容

学校は山中の農村地帯にあるため、自然が豊かな反面、過疎化も深刻で不便な地域である。しかし、生徒はこの地域をととても愛している。例年保護司会との交流が行われ、地域に対する思いについて質問されるが、多くの生徒が「この地域を発展させたい。地域の方がいつも私たちを見守って下さっていることに感謝している。」と答える。第2学年の「打囃子」の指導をする講師も「中馬の時間」を学んだ卒業生であり、3年間の「中馬の時間」によって、地域への愛情は着実に高まっている。本年度は、技能のみの習得ではなく、講師の方の生き方から自分の生き方につなげたり、地域の文化や歴史等の背景を理解を深めたりする学習へとつながってきた。さらに問題解決型の学習や探究学習となるよう取り組んでいきたい。